

6

介護にはいくらかかる？ 生活できる？



介護を受けるとしたらどのくらいの費用がかかるのか見当もつきません。施設を利用する場合の料金はどのくらいなのか。夫婦どちらかが入ると、もう一人は残りのお金で生活できるのか心配です。[70代]



介護にかかる費用は、介護を受ける方の状態や希望によって個人差が大きいです。平均としては一時的な費用が74万円※、月々の費用が8.3万円※です。なお、介護を受ける期間は平均5年1カ月※となっています。

※公益財団法人生命保険文化センター「2021年度 生命保険に関する全国実態調査」より。



介護保険料について

40歳を迎えると介護保険料の納付が始まり、給与や年金等から差し引かれます。介護保険料は、65歳以上では平均月額6,014円※ですが、お住まいの地域によって大きく異なります。40～64歳では平均月額6,216円（見込額、事業主負担・公費分を含む）※で、給与や賞与の金額によって決まります。

※厚生労働省「令和6年度 介護納付金の算定について(報告)」より。2023年度の平均月額。

介護にかかる費用について

介護にかかる費用は一時的な費用と月々の費用に分けられます。どちらの費用も個人差が大きく、ほとんどかからない場合もあれば、平均の2倍以上かかる場合もあります※。

※公益財団法人生命保険文化センター「2021年度 生命保険に関する全国実態調査」より。

一時的な費用	バリアフリーなどの住宅のリフォームや車いすの購入、施設に入居する際の初期費用など
月々の費用	介護サービスの自己負担分、介護保険の支給限度額超過分や対象外分など

月々の費用の概要

介護にかかる月々の費用には主に次の3種類があります。

介護サービスの自己負担分	介護サービスを受ける際には、費用に対し、所得に応じた1～3割の自己負担が発生します。
介護保険の支給限度額超過分	要介護度ごとに月々の支給限度額が設定されており、これを超過して利用した分の介護サービスの費用は全額自己負担となります。
介護保険の対象外分	食費・居住費等は全額自己負担となります。家族が介護する際の交通費等も考慮が必要です。

在宅か施設かによる費用の差

在宅介護に比べ施設介護にかかる費用は高くなります。施設介護では、一時的な費用として、高額な施設入居費がかかる場合があります。また、月々の費用として、介護保険の対象外となる食費・居住費等が多くかかります。

【在宅介護と施設介護の月々の平均費用】

在宅介護	施設介護
4.8万円	12.2万円

※公益財団法人生命保険文化センター「2021年度 生命保険に関する全国実態調査」より。

要介護度による費用の差

要介護度(→ **14**)が上がるにつれ、より高度な介護サービスやより多くの介護サービスが必要となり、そのために施設介護が必要になることもあり、介護にかかる費用が上がります。

【要介護度別の月々の平均費用】

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
5.3万円	6.6万円	9.2万円	9.7万円	10.6万円

※公益財団法人生命保険文化センター「2021年度 生命保険に関する全国実態調査」より。

介護をする方／受ける方の収入減も

介護をする方が、在宅介護のために仕事を休んだり減らしたりすることで、収入が減ることも考慮する必要があります。介護休業制度等を活用しましょう(→ **22**)。また、介護を受ける方がそれまで仕事をしている場合、介護が必要になる頃にはそれまでのようには仕事を続けられなくなることに備える必要があります。